

平成 29 年 3 月 16 日

報道関係各位

一般社団法人 電子情報技術産業協会

**「JEITA ベンチャー賞」受賞 7 社が決定**  
**— Society 5.0 の実現に向けた、ベンチャー企業との協創・連携を促進 —**

一般社団法人 電子情報技術産業協会 (JEITA : 代表理事/会長 東原 敏昭) は、本日、「JEITA ベンチャー賞」の受賞企業、7 社が決定したことを発表しました。JEITA ベンチャー賞は、電子情報技術産業の総合的な発展のみならず、経済発展に貢献しうるベンチャー企業を表彰するもので、昨年に続き、今回が 2 回目の取り組みとなります。

JEITA では現在、Society5.0 の推進、および CPS/IoT の社会実装による新たなビジネスの創出によって、業界をさらに発展させることを目指し、事業を展開しております。JEITA ベンチャー賞はその取り組みの一環であり、IT・エレクトロニクス業界の発展に繋がるベンチャー企業を支援するとともに、JEITA 会員企業とスタートアップ (優良ベンチャー) 企業との協創・連携・エコシステムの構築支援を目的としています。

JEITA 会長の東原敏昭は「さまざまな社会課題を解決する Society 5.0 をいち早く日本で実現するために、JEITA は異業種、ベンチャー、海外の企業との連携を推進しています。JEITA ベンチャー賞は会員企業とベンチャー企業の新たなパートナーシップの創出・連携などを生み出す契機になると考えており、より一層の協創を進めていきたいと考えています」と述べています。

受賞した 7 社のベンチャー企業には JEITA の活動に参画いただくほか、CPS/IoT の総合展として生まれ変わった「CEATEC JAPAN」への出展や JEITA が主催するシンポジウムやセミナーなどへの参画も予定しています。また、JEITA への入会を希望する場合は、本日よりスタートした「ベンチャー優遇特例制度」を活用することができます。

JEITA はベンチャー企業との協創・連携を促進し、Society 5.0 および CPS/IoT の社会実装をさらに推進していくことで、わが国が直面する社会的課題の解決と新たなビジネスの創出を目指してまいります。今後の取り組みにつきましては、随時発表いたします。

**【本件に関するお問合せ先】**

一般社団法人電子情報技術産業協会 (JEITA) 総合企画部 広報室 (担当: 吉田)

TEL : 03-5218-1053 E-mail : [press@jeita.or.jp](mailto:press@jeita.or.jp)

**【受賞企業 7 社と審査評価の概要】**（社名五十音順）

**株式会社アプライド・ビジョン・システムズ**

（本社所在地：茨城県つくば市梅園 2-7-3 つくばシティビル 403）

**【審査評価】**

（株）アプライド・ビジョン・システムズは、3次元視覚技術をベースに、ステレオビジョン、レーザー計測およびGPSを融合させた高精度な3次元計測および物体認識を実現するソリューションを提供している。ソリューションの代表的な事例としては、高精度の立体地図作成、道路や道路周辺インフラの点検、スポーツイベントにおける高精度の距離計測、ロボットの視覚システム、異物検査および身体計測等がある。アプライド・ビジョン・システムズは、今後も幅広い領域での発展を期待できる。

**エアロセンス株式会社**

（本社所在地：東京都文京区小石川 5-41-10）

**【審査評価】**

エアロセンス（株）は自社製の自律型無人航空機によるセンシングとクラウドによるデータの処理、管理を組み合わせた産業用ソリューションの開発・製造・販売を行っている。ソリューション例として、1)「南三陸町震災復興事業」で、従来手法 1/3 の工期で 90ha 全域の工事進捗の定量化、可視化を実施、2) 福島第一原子力発電所事故による 160 カ所の除染した除去物の仮置き場の点検のための上空からの撮影を 1 区画あたり 30 分程度で実現、3) UAV 測量ワークフローの完全自動化の実現、などの今後の高齢化社会に必要とされている新たなソリューションを提供している。今後この分野でのさらなる貢献が期待される。

**株式会社エクスビジョン**

（本社所在地：東京都文京区本郷 3-21-10 浅沼第 2 ビル 2 階）

**【審査評価】**

（株）エクスビジョンは、先進の高速画像処理技術をロボット、FA、映像メディア、自動車、ドローン、医療分野などへ適用するアプリケーションの開発を先導して手がけている。エクスビジョンが手がける高速画像処理は、空間分解能の向上に加えて時間分解能の向上を重視し、様々な物体の動きを正確に検知、認識することが可能である。加えて、AI 技術との融合によって、行動認識を更に高精度にしている。エクスビジョンは、今後も他社で行っていない、先進的な高速画像処理技術を開発すると期待される。

### 株式会社 Kyulux (キューラックス)

(本社所在地：福岡県福岡市西区九大新町 4-1 福岡市産学連携交流センター227 号室)

#### 【審査評価】

(株) Kyulux は、九州大学で発明された熱活性化遅延蛍光材料(TADF: Thermally Activated Delayed Fluorescence) と Hyperfluorescence (TADF と蛍光材料を組み合わせた材料) に関連する特許の独占実施許諾または譲渡を受け、高効率発光、低コストに加え高純度な発光色の実現に取り組んでおり、次世代の有機 EL ディスプレイ、有機 EL 照明の実用化を進めている。2016 年 11 月に Red Herring の Global Winner 100 に選出され、世界的にも注目されている。フレキシブルディスプレイや透明ディスプレイなどの新たな用途への応用が期待されている有機 EL の材料開発ベンチャーとして、今後の発展が大いに期待できる。

### 株式会社フェニックスソリューション

(本社所在地：石川県金沢市打木町東 1414)

#### 【審査評価】

(株) フェニックスソリューションは、金属対象物でも読み取り可能な RFID タグの開発に世界で初めて成功した。この技術により、従来手作業による膨大な手間と人件費がかかっていた金属資材管理の作業時間の削減が可能となる。従来難しいとされてきた金属資材や資産の一括管理ができるようになり、サプライチェーン全体にわたるトレーサビリティ管理やセンサー等との連携でインフラ管理に適用されることで、社会全体の IoT 化を加速することが期待される。

### 株式会社 FLOSFIA (フロスフィア)

(本社所在地：京都府京都市西京区御陵大原 1-36 京大桂ベンチャープラザ北館)

#### 【審査評価】

(株) FLOSFIA は、産学連携により先駆的に開拓したミスト CVD 成膜技術に基づき、簡便、安価、安全に、多種多様な金属酸化物の薄膜形成を可能とし、太陽電池や有機デバイスなど様々な用途・産業分野で薄膜ソリューション事業を展開している。また、最近では、次世代パワーデバイスとして期待される酸化ガリウム (Ga<sub>2</sub>O<sub>3</sub>) 半導体のデバイス試作にも成功し、今後の発展を大いに期待できる。

### 株式会社 MUJIN (ムジン)

(本社所在地：東京都 文京区本郷 4-8-13 TSK ビル 1 F)

#### 【審査評価】

(株) MUJIN は、画像認識結果によって、事前のプログラムを必要とせず、自らピッキング動作を自動生成・実行する知能ロボットの制御技術を開発している。膨大な手間と時間を必要とするティーチング作業が不要になることから、短期間でロボットを生産現場に導入できるようになる。多品種少量生産の製造現場に向くほか、人手不足が問題となっている物流業の作業効率向上にも効果が期待される。

以上